

地域の強みを高める公衆衛生看護技術【活気づけ編】～ナラティブベースのシミュレーション学習～

■ 学習方法

- 2 種類の学び方： 1. 『みて・きいて、実感持ってワザ・ゲット！』 シナリオ 1・2 の動画教材を視聴して学ぶ
2. 『演じ・感じて、実感持ってワザ・ゲット！』 シナリオ 1・2 の役割演技を通して学ぶ（グループ内で配役して演技／声に出して読み合わせる）
- 基本事項： 1. シナリオ 1 を視聴し（役割演技し）ワークシートのシナリオ 1 気づき欄に記入。引き続きシナリオ 2 を視聴し（役割演技し）シナリオ 2 気づき欄に記入。
2. ワークシート左のシナリオ 1 と右のシナリオ 2 の内容を比較し、異なる点からこのワザのポイントを導いて、学び欄に記入。
3. そのあと、自分がこのワザをいつどのような場面で使うか、すると今までと比べて何がよくなりそうかをアクション欄に記入。
4. グループ内での検討やフィードバックを受けて、最後にリフレクション欄に記入。

■ 場面設定

- あなたは保健師の 新田菜 一步（あらたな いっぽ）、A 市 B 町の健康福祉課に就任して 2 年目です。A 市は、地区分担制で、あなたはスミレ地区の担当です。
- 最近、隣の lindou 地区で、高齢者の孤立死が発生しました。この出来事に保健師一同はショックを受け、同じことが起こる可能性が他地区にもあると考え、なんとかせねばと動き出しました。
- A 市 B 町は、高度経済成長期の重点課題として地域開発され、都市のベッドタウンとして発展してきた町で、B 町は lindou 地区、スミレ地区、レンゲ地区から構成されています。
- 現在の人口は 1 万 8 千人で、人口減少、高齢化が進行していて、特に最初に造成された lindou 地区の高齢化率は 34.8% と、スミレ地区の 23.3% より 10% あまりも多い状況です。
- スミレ地区は、景色のいい丘陵地の戸建て団地で、今は 143 世帯、335 人が生活。近辺にはお店や病院がなく、主な交通手段は、坂道を 15 分くらいかけて降りたところの電車です。
- 子どもらが巣立ったあと、地域のつながりが弱くなり、今はそのつながりを醸成する仕組みもないことから、あなたは、そこに衛る「生（生命・生活・生きる権利）」があることに気づきました。
- そこであなたは、健康推進員に協力をお願いし、関心のありそうな住民に呼びかけ、「わがまち・丸ごと知ろう会」を開催することにしました。10 人程度が集まってくれたのがこの場面です。

■ 地域の強みを高める公衆衛生看護技術 ～めざす方向性、規範、技術：【枠組み】《大ワザ》〈小ワザ〉～ ～この教材の焦点は【活気づけ】～

【めざす方向性】ポピュレーションの最良のポジティブヘルス状態（公衆衛生の向上）

【規範 社会的公正】《信頼とパートナーシップ》《平等・公平性》《みな「生」を衛る》

【探索 Searching】《実態探索》〈強み発掘〉〈課題把握〉〈資源探索〉／《実態顕在化》〈見える化〉〈実に見せ〉〈要因見せ〉

【活気づけ Stimulating】《当事者意識醸成》〈ワレラゴト（我ら事）共有〉〈みなで/ともに/楽しく浸透〉／《やる気下支え》〈発起アシスト〉〈元気バックアップ〉

【促進 Facilitating】《総力活用推進》〈担い手拡充〉〈相互寄与見せ〉／《全体定着推進》〈地域普及〉〈主導化応援〉

■ 配役表（シナリオを用い、配役して、声に出して読み、その役割演技を通して学ぶ場合）

配役	保健師 新田菜 一步	自治会長 大屋 しず	健康推進員 中川 由子	住民 木原 美樹	観察者
シナリオ 1					
シナリオ 2					

※シナリオ中、網掛け部分は動画では省いています。読み合わせでは活用ください。

シナリオ 1		気づき欄 1	シナリオ 2		気づき欄 2
	(机上に A4 資料が一人 1 枚配布されている)			(目的だけが見えるように下半分を折った A4 資料が一人 1 枚配布されている)	場面 1 1) 導入
新田菜 保健師	みなさん、こんにちは。本日は「わがまち・丸ごと知ろう会」にお集まりいただきありがとうございます。 私はスマレ地区担当の保健師、新田菜 一歩（あらたな・いっぽ）と申します。 さて、地区ごとに担当の保健師がいるって知っていましたか？いかがですか？		新田菜 保健師	みなさん、こんにちは。本日は「わがまち・丸ごと知ろう会」にお集まりいただきありがとうございます。私はスマレ地区担当の保健師、新田菜 一歩（あらたな・いっぽ）と申します。（全員の顔を見回して嬉しそうに）今日お越しいただいているのは、何度かお目にかかったことがある方ばかりのようにお見受けします。ですが、最初に質問させてくださいね。何をするかと言いますと、セーのと言ったら、グーチョキパーで手をあげて答えてください。グーは「私、新田菜を地区担当保健師だと知っている」、チョキが「知らなかったけど、どこかで私、新田菜を見たことがある」、最後パーは・・・「そんなのかんげーねえ」です（反応を見て説明を繰り返してもよいが、ここでは省略）。よろしいですか。ではセーの！	
木原	地区ごとというのはちょっと。。		大屋/中 川/木原	えー、なにー、パーってははは～（など口々に言いながらグーかチョキをあげる）	
新田菜 保健師	そうですか、ありがとうございます。では、これを機会にぜひ知っていただければと思います。A 市では地区ごとに担当の保健師がおり、みなさんの健康づくりをご支援しています。どうぞよろしくお願いいたします。		新田菜 保健師	ありがとうございます！ みなさんグーとチョキを出してくださいました。パーはどなたもいらっしやなかったですねー、よかったです。はい、これからみなさんの健康づくりのパートナー、保健師 新田菜 一歩をよろしくお願いいたします。	
大屋/中 川/木原	(パチパチ拍手)		大屋/中 川/木原	いえーい！（パチパチ拍手）	
新田菜 保健師	さて、本日お集まりいただきましたのは、みなさんにこの地区、そうスマレ地区について知っていただきたいからなんです。みなさんはスマレ地区の高齢化率についてご存知ですか？		新田菜 保健師	さて、本日お集まりいただきましたのは、みなさんに〇〇について知っていただきたいからなんです（レジメの目的の伏せ字〇〇のところを指す）。目的に「〇〇について知る」と書かせていただきました。この〇〇には何が入ると思いますか？（みんなを見回し、手上げを促す）では、中川さんどうぞ。	2) 目的
中 川 / 木原	(知らないという顔)		中 川	あ、わがまちですか？	
大屋	A 市全体の、であれば聞いたことがあります、、		新田菜 保健師	なるほど。ありがとうございます。ほかにもご意見ありますか？ はい、木原さんどうぞ。	
			木原	スマレ地区ですか？	

新田菜 保健師	お、さすが大屋自治会長さん。はい、普段なかなか地区単位の高齢化率を知る機会はないですもんね。本日の最も大事な目的は、レジメにもお示した「スマレ地区について知る」です。これが本日の 1 番目の目的です。		新田菜 保健師	（感動し）中川さん、木原さん、さすがです。本日の 1 番目の目的は、「わがまちスマレ地区について知る」、でした。みなさん、拍手—！ 本日の最も大事な目的は、これなんです。それでは横の空欄に、わがまちスマレ地区とお書きください（少し間）。それでは、次は 2 番目の目的、これは読んでいただいてもよろしいでしょうか。では自治会長、大屋さん、お願いします。	
大屋/中 川/木原	（うなづく）		大屋	はい、目的の 2. それぞれの願いを出し合う。	
新田菜 保健師	2 番目の目的は、「それぞれの願いを出し合う」そして、3 番目は、「願いを叶えるためにできることを、ひとつだけ決める」、になります。 つまり、今日は、地区の状況を知っていただいたうえで、みなさんがどのような願いを持っておられるのかを伺い、その願いを叶えるためにできることを出し合っていたらと思います。 ここまで、ご了解いただけましたか？		新田菜 保健師	はい、ありがとうございます。地区の状況を知っていただいたうえで、みなさんがどのような願いを持っておられるのかについて出し合って、確認したいと思います。ここまでのところ、ガッテンいただけましたでしょうか？（ガッテンのジェスチャー、左手のひらに右こぶしを打ってみせ、みんなからの返しを促す）	
大屋/中 川/木原	（うなづく）		大屋/中 川/木原	はははは～（笑いながら、ガッテンのジェスチャーで反応を返す）	
新田菜 保健師	ありがとうございます。それでは、これより本題に入っ て参ります。		新田菜 保健師	ありがとうございます。そして 3 番目、これは今日、ぜひ到達してほしい、本日のゴールになります。中川さん、ここお願いできますか。	
			中川	3. 願いを叶えるためにできることを、ひとつだけ決める	
			新田菜 保健師	ありがとうございます。はい、そのとおりです。みなさんが、今日ここに来てくださったということは、わがまちスマレ地区のことを思っていることと思います。みなさんの思いが、ひとつでも形になっていくことが、みなさん全員の健康づくり、そしてスマレ地区全体の地域づくりに役立つことと思っています。保健師からの願いも込めて、本日の目的とさせていただきます。 それでは、これより、本日の「わがまち・丸ごと知ろう会」を始めさせていただきます。もう一回、ガッテンよろしいでしょうか？（ガッテンのジェスチャー）	
			大屋/中 川/木原	はははは～（笑いながら、ガッテンのジェスチャーで反応を返す） （テロップ/役割演技では読んでください：このあと、まず参加者に自己紹介と参加理由を述べてもらいます。参加者はそれぞれに対して拍手して、誰か一人が一言ポジティブ・フィードバックを返します。ここでは省略します）	

新田菜 保健師	ここにお示したのは、B 町の 3 つの地区リンドウ地区、スミレ地区、レンゲ地区の高齢化率です。65 歳以上の人口割合ということになりますが、リンドウ地区が 34.8%、スミレ地区が 23.3%、レンゲ地区 12.5%となっています。 リンドウ地区は昭和 44 年に造成されていて、スミレ地区が 48 年、レンゲ地区が 50 年なので、B 町の中ではリンドウ地区が最も早くできた地区になります。ですので、住宅地が造成された年からの年月が長いほど高齢化率が高い状況ということになります。スミレ地区も 4 年後はリンドウ地区と同じ年月が経つことになりますね。 それは何を意味しているでしょうか。 スミレ地区が抱える課題について、どのようにお考えになりますか。 木原さんどう思われますか。		新田菜 保健師	それでは資料をお配りします（A4 カラー両面資料 1 枚を配る）。 ここにお示したのは、A 市 B 町の 3 つの地区、リンドウ地区、スミレ地区、レンゲ地区の実態です。グラフは 3 つの地区の高齢化率、つまり 65 歳以上の人口の割合を示しています。 昭和 44 年にできたリンドウ地区が 34.8%、48 年にできたスミレ地区が 23.3%、50 年のレンゲ地区 12.5%です。住宅地が造成された年からの年月が長いほど高齢化率が高い状況です。世帯人数の平均は、順に 2.4 人、2.5 人、3.3 人となっており、高齢化率が高いほど人数が少ない状況です。地区ごとの一人暮らしの方の人数のデータがなかったのですが、この世帯人数の少なさに表れていると思われます。 いかがでしょうか、ご自身のイメージと同じでしたでしょうか。 ここから、この B 町、そしてスミレ地区が抱える課題について、どのようにお考えになりますか。同じテーブルの 4 人で、思ったことや、意見を出し合ってください。 （参加者はここで数分ワイワイ話し合いますが、ここでは省略、発表場面へ）	3) 地区の実態
木原	それは、あと 4-5 年たったら、今はスミレ地区は 65 歳以上が 4 人にひとりだけど、3 人にひとりになるってことですか。		新田菜 保健師	それではこちらのグループからお聴きしましょう。こちらでは、どんなことが挙がってきましたか？	
新田菜 保健師	そうですね。そのように考えていいですね。地区の中で高齢者の割合が増えるということは、それだけ支援や介護が必要な方も増えるということです。また、当然ご病気や事故でお亡くなりになる方もいらっしゃるの、夫婦二人から一人暮らしになる方も増えることになります。		木原	私たちは、リンドウ地区で先月、高齢者の孤立死があったことにショックを受けていました。今、この資料を見せていただいて、スミレ地区と世帯人員の平均人数がほぼ同じなのに、リンドウ地区の高齢化率が 30%を超えていることを知って、身体が弱っていく、年寄りの多い地域だったから、、、だからあんな事件が起きたのかなあ、、、って思いました。	
			新田菜 保健師	それは、目の付けどころがとても的確ですね。リンドウ地区での事件をみなさんもお存知でしょうか？（みんな、うなずく） 亡くなられた方はもちろん気の毒なのですが、地区の方々に何うと、気づけなかったことを、まわりの住民の方々がとても悔やんでおられるということでした。本当に痛ましい事件でしたね。 （テロップ/役割演技では読んでください：実際はほかのグループの意見も聴きますが、ここでは省略します）	

新田菜 保健師	では次に資料の下の図表をご覧ください。スマレ地区の、現在 65 歳以上の方の年齢区分別の人数を示し、円グラフに%を表しています。今、人数が多いのは、65-69 歳が 78 人中 21 人、70-74 歳の 24 人です。 どうでしょうか。この割合は、5 年後、10 年後にどうなると思われますか。 大屋自治会長いかがですか？		新田菜 保健師	それでは資料の裏面をご覧ください。これは、スマレ地区の、現在 65 歳以上の方のみ、つまり、表面の 23.3%の方々のみについて、現在と、5 年後、10 年後にどうなるか、年齢区分別にその数をお示したものです。これは、今住んでおられる方が、引っ越しせずに、スマレ地区に住み、ご存命でいらっしゃる場合ということでお示ししています（事実を淡々と説明する）。 ご覧のとおり、5 年後には 65 歳-69 歳の方は 70-74 歳に、10 年後にはみんな 75 歳以上とスライドしていき、ピンクで示したような人数の構成になります。もちろん、高齢化率も現在 23.3%ですが、5 年後はたぶん 30%以上、10 年後は 35%以上になると予測されます。	
大屋	それは 5 年後にはこの 65-69 歳の 21 人が 70-74 歳になって、70-74 歳の 24 人が 75-79 歳になって、と、まあ順々に年を取りますよね。		中川	それじゃあ、5 年後は今のリンドウ地区のようになって、10 年後はもっとすごいことになるということじゃないですか。	
新田菜 保健師	その通りですね。みなさんもイメージができますでしょうか。この実態を実感してみなさんはどう思われますか。中川さん、いかがでしょうか。		大屋	事件以来、リンドウ地区のようになってはたいへんと思ってたけど、スマレ地区も、すぐに深刻な状況になりそう、、、	
中川	なんか、、、年寄ばかりになって、お先真っ暗な感じがしてきました。		新田菜 保健師	そのリスクがあるということだと思います。	
新田菜 保健師	（暗くなるのを吹き飛ばすように元気に）いえいえ、まだ間に合います。みなさんが何とかしなくちゃと思って立ち上がっていただければ、まだ大丈夫です。 （テロップ/役割演技では読んでください：保健師は数人に意見を聞きますが、ここでは割愛します） どうでしょうか。何とかしなくちゃと思っていただけましたか？		木原	それは、私たちが、何とかしなくちゃということですか。	
			新田菜 保健師	そう思っていたら、一生懸命ご支援いたします。	
			大屋	5 年後に、安心して暮らしていけるように、ね、、	
			中川	今から、何とかしていかなくちゃ、、、	
			大屋/中川/木原	ほんと、そうねえ（など口々に言う）	
大屋/中川/木原	（うなづく）		新田菜 保健師	はい、その通りだと思います。一緒に考えて、しっかりご支援していきたいと思えます。	

新田菜 保健師	ここまでは、まず、スマレ地区の実態について、ご説明いたしました。次のパートは、みなさんが5年後、10年後、どんなふうに暮らしていきたいか、この、スマレ地区をこれからどんなまちにしていきたいかについて、お一人お一人の願いを語っていただきたいと思います。 ご存知のことと思いますが、先月リンドウ地区で、高齢者の孤立死がありました。すぐ隣の地区なのでとてもショックだったと思います。もし自分たちの地区だったらどうだったでしょうか。そんなふうにならないためにも、これからのスマレ地区について、どのようになつたらいいか、願いを出し合いたいと思います。この4つの内容について、私が板書しますので、お一人ずつ意見ををお願いします。どうぞ。 [板書] 1. 5年後、あなた自身がどんな暮らしをしたいか 2. 5年後、地区の人とともに地域でどんな暮らしをしたいか 3. そうなるために、活かせるわがまちスマレ地区の強みは何か 4. その強みを活かして、スマレ地区でこれからどんな取り組みができそうか		新田菜 保健師	いま、本日の大事なところ、まず、わがまちスマレ地区の実態について、ご理解いただきました。次のパートは、5年後、10年後、みなさんがどんなふうに暮らしていきたいか、この、わがまちスマレ地区をどんなまちにしていきたいかについて、お一人お一人の願いを語っていただきたいと思います。 そのために、ここに4色のハート形の紙とマジックをご用意しました。みなさんの「思い」を書いていただくということで「ハート形」です（笑み）。まずお一人ずつ、4色4枚配ってください。 ここに、ご自身の思い、願いを書いてください。 ホワイトボードにお示したように、ピンク色には、「5年後、あなた自身がどんな暮らしをしたいか」、黄色には、「5年後、周りの人と一緒に、地域でどんな暮らしをしたいか」、緑には、「そうなるために、活かせるわがまちスマレ地区の強みはなんだと思うか」、水色には、「その強みを活かすと、わがまちスマレ地区でこれからどんな取り組みができそうか」を書いてください。1枚にひとつ、何枚書いていただいてもけっこうです。 書き終わったら、お一方ずつ、前のボードに貼ってご説明をお願いします。このボードも、夢をふくらませる、願いを届けるという気持ちをこめてバルーンにしてみました。 （テロップ/役割演技では読んでください：ここでは参加者全員が順に一人ずつ前に出て、ハートの紙を貼って説明します。それを聴いて、みんなが拍手でたたえますが、ここでは省略します）	場面2 4) 住民の願い
大屋/中 川/木原	（顔を見合わせ、そのあと、参加者だけで話す）		新田菜 保健師	すごいですねー。あっという間に、こんなにたくさんの願いが、集まりました。ピンク、ご自身の5年後については、「健康で」「楽しく」「自立」「安らぎ」「挑戦」「夫婦で」「今の家で」「迷惑をかけないで」といった言葉が見られます。 黄色、5年後地区のみんなとどうしていきたいかについては、「地域自慢したい」「近所づきあい・仲良く・親しい間柄」、そして「話したい・声かけ・助け合う・相談できる」といった言葉が見られます。 緑、それらの願いをかなえるために、活かせる強みについては、「公民館・公園」「四季折々の景色、桜・野草、日当たり」「気軽に交流できる」や、「思いやり・人の輪」というのが出ています。 水色、それらの強みを活かしてスマレ地区でできそうな取り組みについては、「おしゃべりできる場・交流の機会」「仲良く・声かけ・挨拶」と、いろいろ出てきましたねえ。	
新田菜 保健師	（板書をしている身振り）		大屋/中 川/木原	へえ～、あれいいな、それもいいな、ほお～（ワイワイ口々に話す）	

大屋	リンドウ地区のことはねえ、ショックでしたよね、、、だと 1 は、健康で長生き、でしょうか、、、		新田菜 保健師	さてみなさん、ここからは今日の目的 3 に入ってまいります。3 は「願いを叶えるためにできることを、ひとつだけ決める」ということでした。とはいえ、これだけたくさんの願いが集まりましたので、どうしようかと思ってしまうですね。そこで、今日は、みなさんにまず、この中で、最も、みなさんにとって、このスマレ地区にとって大事だと思う願いに絞って考えていただきたいと思います。さて、どの願いが最も大事でしょうか。	5) 願いの実現 に向けて
中川 木原	私も、、、ショックだった、あれは、、、ほんと、そうですねえ、、、		中川	えっと、私は黄色の「ここに住んでよかったと皆と地域自慢にしたい」だと思います。	
大屋	だと、2 は、、、みんなで元気に、、かな。		大屋	賛成、私もそれかな。それともう一つ、黄色の「みんなと仲良く、声をかけ、お付き合いを続けたい」も大事だと思います。	
木原 中川	そうですね。 そうですね。		新田菜 保健師	なるほど。ありがとうございます。「ここに住んでよかったと皆と地域自慢にしたい」と「みんなと仲良く、声をかけ、お付き合いを続けたい」が挙がりました（参加者が選んだハートに、花をマーカーとしてつけていく）。ほかにいかがですか。	
木原	次は、3 ですか、、、この地区の強みは、、景色がよくて空気がきれい、ということかしら		木原	その二つものとても大事。それと、年を取っていくので、ピンクの「健康で楽しく長生きしたい」も大切にしたいと思います。	
中川	はい、です。		大屋	確かに、挙がった 3 つはどれもすごく大事よね。それを叶えるには、緑の強みにある「公民館がある、四季折々の景色が素晴らしい」を活かして、水色の「様々な交流の機会を持つ」、そんな取り組みが必要。	6) 活動目標
大屋	4 は？			（テロップ/役割演技では読んでください：実際にはもっとたくさん挙がる可能性があります。その場合は、似たものをひとつにまとめるなどして整理していきます。）	
木原	ん～、毎日の声の掛け合いかな。それと毎年、健康診断に行く、、、		新田菜 保健師	なるほどー。ありがとうございます。それでは、みなさんが集約してくださったこれらを、みなさんの最も大事な願いとしてまとめてみましょう（まとめて板書する）。みなさんの大事な願いは、「健康で楽しく長生きするために、みなと仲良く、声をかけ、四季折々、様々な交流の機会と場を持ち続けながら、ここに住んでいてよかったと自慢できるスマレ地区にしていきたい」ということになりますでしょうか。みなさん、この願い、いかがでしょうか。これはスマレ地区がこれから目指す目標となりそうですね。それでは、忘れないように、これをレジメに書き留めておいてください。	
中川	はい、それならできるかもしれないです。				
新田菜 保健師	ありがとうございました。ホワイトボードに書き出したように、みなさん同じような願いがあることがわかりました。 ここからは今日の目的 3 になります。3 は「願いを叶えるためにできることを、ひとつだけ決める」ということでした。 みなさんで話し合ってくださいますか。 20 分くらいでお願いします。				

大屋/中川/木原	はあ……。		大屋/中川/木原	いいねー、そうなっていきたいねー、うんうん（など、口々に言って、うなづく） （最初に配布していた用紙の折り目を開く。事前にかけてあるので確認）	7) 活動計画
中川	自治会長さん、これってどうしたらいいんでしょうか。		新田菜保健師	それでは、ここでもう一度、本日最後の目的であった「願いを叶えるためにできることを、ひとつだけ決める」について考えてください。ひとりにつきひとつ、をお願いします。自分にできそうなことです。けっして難しく考えないでくださいね。できそうなこと、簡単なことを、ひとりひとつだけ考えてください。無理しなくてもできることです。これだったら私やれるわ、ということを考えてください。	
木原	ここにきている人は、みんな、健康教室にも参加したり、お祭りにも熱心な人たちなので、、			これも、用紙とマジックをご用意しました。ひとりひとつ決まったら、この胸の四角のところに書いてください（宣言シートを配布）。	
大屋	我々だけで決めても、来ていない人が、どう思うか、、 （テロップ：20 分経過）		大屋/中川/木原	えーどうしよっかなー、うーん、あれかなー（ワイワイ色々言いながら決めて書くふりをする。役割演技では、このあと、あらかじめ準備した記入済み用紙を用いて発表） （テロップ/役割演技では読んでください：実際には、二つ書きたいという場合もあり。その場のダイナミクスで臨機応変に対応します。自分もたくさん書きたかったのにと羨む人が出ないように、みなさんの承諾を得るなど配慮がいきます。ここでは省略します。）	
新田菜保健師	それでは、時間になりましたので、まずこちらのグループから発表をお願いします。		新田菜保健師	それでは、みなさんお書きになったようですので、発表していただきます。今回はお隣さんによる発表にします。グループごとに前に出てきてもらい、例えば、中川さんの分を木原さんが「願いを叶えるために中川さんは、〇〇する」と決めました、というように紹介してください。では、どうぞ。	8) 参加
木原	はい、いろいろ悩むんですけど、今日は、スミレ地区がこのままでは大変だということがわかったので、自治会の班長会で大屋自治会長さんに現状を説明してもらってはいということになりました。 （テロップ：他のグループの発表はここでは割愛します）		木原	はい。では、中川さんのを発表します。願いを叶えるために、「月に 1 回公民館でお茶会を開く」ことを中川さんは決めました。	
新田菜保健師	それでは、今日みなさんが話し合われた結果としては、 これから 5 年後 10 年後に向け、1.健康で長生きしたい、そして 2.みんなで元気に暮らしたいという願いがあること、それに活かせる強みは 3.この地域の環境の良さがあるということでした。		新田菜保健師	すごいです！ ありがとうございます。ほんと、すごいですね。みなさん拍手！ では交代してください。	
			中川	はい、大屋さんです。私たちの願いを叶えるために、「今日来ている人だけでなく、来ていない人に、今日の内容を伝え、目標を理解してもらい、そのためにもお茶会に、みなを誘う」、と決めました。嬉しいでーす！	

新田菜 保健師	そして最後に、目的 3. 願いをかなえるためにひとつだけ決めたこととしては、自治会の班長会で大屋自治会長から実態を説明してもらうということでした。自治会長さん、それでよろしかったでしょうか。		大屋	木原さんです。私たちの願いを叶えるために、木原さんは、「公民館でお茶会をする際に、保健師さんやボランティアさんの協力を得て、A 市いきいき体操を行う」ことを決めました。これは助かりますー！ (テロップ/役割演技では読んでください：同様に宣言シートの内容を発表し、宣言シートは前のホワイトボードに貼っていきます。他グループの発表はここでは省略します)	9) 始動へ
大屋	はい、わかりました。		新田菜 保健師	みなさん、素晴らしい宣言でした。すごいですね。みなさんに秘められたパワーを肌で感じることができました。あつという間にひとつ、スミレ地区での健康づくり活動が立ち上がりそうです。みなさんが考えたこの企画が、本当に実現するように、これから具体的なことを考えていけるとよいですね。保健師としては、ここに集まってくださったみなさんが中心になって、できることから動いてくださることを期待しています！ まずは「わがまち・丸ごと」の考え方や、みなさんが決めたスミレ地区の目標が、地区のみんなに浸透するように動くことからでしょうか。もちろん保健師としても、一緒に考えて、みなさんが自信を持って進んでいけるように、ご支援できればと思っています。	
新田菜 保健師	結果について、また教えていただいてよろしかったでしょうか。				
大屋	はい、わかりました。		大屋/中 川/木原	わあ、保健師さん頼りにしてまーす、保健師さんありがとう！（などワイワイ話す）	
新田菜 保健師	みなさんもそれでよろしかったでしょうか。		新田菜 保健師	新しいことを始めるには、みなさんひとりひとりの力が欠かせません。本日は「わがまち・丸ごと知ろう会」ということで、知ることに重きを置いた会でした。これから、まだ知らない人に知ってもらうこと、知ってもらったみなさんには、できることからどう進めるかを考えていただきたいと思います。ですので、次は、具体的な進め方を決めていくための会が必要ですね。いかがでしょうか。みなさん主体で開いてくださいますでしょうか。	
大屋/中 川/木原	（一同、うなづく）		大屋/中 川/木原	開こう、やろう、いつがいい？（などワイワイ話す）	
新田菜 保健師	ではみなさん、これで本日の「わがまち・丸ごと知ろう会」を終わらせていただきます。ありがとうございました。		新田菜 保健師	ありがとうございます。本日の「わがまち・丸ごと知ろう会」はこれで終了します。 保健師も、みなさんの願いが叶うように、引き続きかわらせていただければと思います。では、次回の日程についてこのあと話し合っていただけるということで、どうぞよろしく願いいたします。ご参加ありがとうございました。	
大屋/中 川/木原	お疲れ様でした。				
大屋/中 川/木原	じゃ、さよなら、、、 （後ろのドアから、帰路につく）		大屋/中 川/木原	どうする？ 早いほうがいいね、来週は？ お菓子作ってくる（など、ワイワイ口々に、楽しく話をしながら、保健師にも挨拶をして、帰路につく）	

	自身で記入	デブリーフィング・フィードバックで追記
学び欄 シナリオ1・2の内容を比較し、異なる点からワザのポイントを導く		
アクション欄 自分がこのワザをいつどのような場面で使うか、今までと比べて何がよくなりそうかを記入		
リフレクション欄 グループ内での検討やフィードバックを受けて成長したことを記入 ●学習前より地域の強み・それを高めるワザについてどう理解や行動が変わったか		